シラバス参照

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅰ		
担当教員	西田　亮介		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	―		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 [意欲・経験・適性] 災害，テロ，国際紛争等，複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察（20%） DP2 [学識・専門技能] 災害，テロ，国際紛争等，複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための，法学，政治学，国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（30%） DP3 [思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（30%） DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ，自らの明確な考えをもとに，他者とコミュニケーションを確立する能力（20%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	ー		
科目概要・キーワード	■科目概要 危機管理学とその基礎となる危機管理上の情報とメディアの諸課題に関する研究活動を実践するために，必要な社会科学的研究手法を学び，学生が自らテーマを設定し，論文を執筆し，成果を発表するための指導を行う。本演習では，危機管理学，情報とメディアの諸課題に関する研究手法の修得，テーマの探求，先行研究の評価，資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱う。これらの研究プロセスを通じて，学識・専門技能に加え，判断力・思考力・表現力，更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 ■キーワード：　社会学、現代社会、メディア		
授業の趣旨	■副題 危機管理の視点を取り入れた情報とメディアの研究① ■授業の目的 危機管理の視点から情報とメディアのに関する問題の整理、先行研究の調査等を通じて新規性・有用性のある研究テーマを探求する。これらの学修を通じて、学識・専門技能に加え、意欲・経験・適性、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性といった各汎用的能力を開発することを目的とする。 ■授業のポイント 当科目では，学生による2ヵ年間の自主的な研究活動の第一段階として、情報とメディアのアプローチによって解決すべき危機管理上の社会的課題の抽出、先行研究の検索と整理・検討から、その問題解決を学術的に研究するための研究計画を立案する。		
総合到達目標	■危機管理に関する問題に対し、強い関心をもって客観的に洞察することができる。 ・危機管理上の問題に対し、情報とメディアの諸課題の視点を用い、課題解決に向けた研究につなげることができる (第1回～15回)。 ・危機管理上の問題について、学術的な研究対象として洞察することができる (第1回～15回)。 ■危機管理学に関する問題を情報とメディアの視点から分析することができる。 ・危機管理上の問題を、情報とメディアの理論や概念に基づいて読解することができる (第1回～15回)。 ・危機管理上の問題に関連する資料の収集と分析を体系的に行うことができる (第1回～15回)。 ■危機管理学に関する課題を論理的に解釈し、その成果を適切に表現することができる ・危機管理や情報とメディアに関する資料について、用語の意義や文脈を適切に把握しつつ、活用可能な知識として取り込むことができる (第1回～15回)。 ■危機管理に関する問題について、客観的・論理的なコミュニケーションを通じて議論することができる ・危機管理上の諸課題について、目的、構成、内容に配慮しつつ、分野固有の規律に従って、口頭又は文章によるコミュニケーションを適切にとることができる (第1回～15回)。		
成績評価方法	■授業参加度（15回）60%(DP2,DP3,DP4) （評価の観点）学究的な姿勢、計画性や実行力を評価する。 （フィードバックの方法）授業中にフィードバックする。 ■実技・パフォーマンス（4回）40%(DP2,DP3,DP4) （評価の観点）学術研究としての水準、プレゼンテーションの技術、配布資料の完成度を評価する。 （フィードバックの方法）授業中に講評を行う。		
履修条件	特になし。初回出席必須。非合理的な理由での単位取得の交渉は一切受け付けない。		
履修上の注意点	特になし。毎回ノートPCやタブレットなどを持参すること。教科書は何らかの方法で学期の間手元においておけるようにすること。		
授業内容			

回	内容
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになる(DP-1, 3, 4)。

	③予習（120分）シラバスの内容を精読し、当科目の学修計画を作成する。 ④復習（120分）講義を振り返り、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
3	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
4	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（121分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
5	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（122分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
6	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（123分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
7	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（124分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
8	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（125分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
9	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（126分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
10	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（127分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
11	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（128分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
12	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（129分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
13	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（130分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
14	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。

		④復習（131分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。
	15	①授業テーマ 危機管理に関する情報とメディア研究の研究計画作成 ②授業概要 危機管理と情報とメディアに関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習（120分）危機管理と情報とメディアに関する先行研究を調査し、その書誌情報と概要をリスト化する。 ④復習（132分）ディスカッションの論点を整理し、各主張の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果をクラスに報告する。

関連科目	社会学1、社会学2　メディアコミュニケーション論、情報倫理
教科書	特になし
参考書・参考ＵＲＬ	特になし
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：ryosukenishida@gmail.com ■オフィスアワー：都度、連絡のこと。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%；パブリックセキュリティ85%；グローバルセキュリティ5%；情報セキュリティ5% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学95%：法学5%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.